

## 建築・都市デザイン学科 建築学系 の 実技試験について

2026年度生入学者選抜では、「建築・都市デザイン学科 建築学系」の推薦選抜（11/15実施分）において「実技試験」を課します。

以下にその内容を示します。

### 記

#### I 対象となる学系と入学者選抜

「建築・都市デザイン学科 建築学系」

指定校推薦

専門高校・総合学科給費奨学生推薦

公募制 一般推薦

公募制 自己推薦

系列校推薦

#### II 実技試験の出題と評価基準

1. 建築学科の「アドミッションポリシー」に則り、評価を行う。

##### ■ アドミッションポリシー（A P）

知識・理解（AP1） 建築学を学ぶために必要な基礎学力を有している。

思考・判断（AP2） 物事を観察・考察し、創造的な思考と判断ができる。

関心・意欲（AP3） 建築の諸領域に常に関心を持ち、新しい知識や技術を持続的に学ぶ意欲を有している。

態度（AP4） 倫理観や責任感を有し、他分野との協調性を有する。

技能・表現（AP5） 図面等や口頭表現を通して自らの提案を他者にきちんと伝えることができる。

2. 建築学を学ぶためには、以下の「5つのデザインの思考能力」が必要であると考え、それを評価する。

##### ■ 5つのデザインの思考能力

A 立体物の形状（比率を含む）を正確に把握する力

B 丁寧に表記する力

C 立体物を想像する力

D 建築に関わる空間および事象を観察する力

E 事物を描写する力

#### III 試験時間

90分間

「静物デッサン」と「観察力デッサン」の2つの課題に解答する。

解答に掛ける時間配分は自由

#### IV 実技試験の内容と評価項目及び解答例

##### 課題1 「静物デッサン」

###### ■ 試験内容と評価項目

本学で用意する静物を実際に見て、A3画用紙に鉛筆を用いたデッサンを行う。  
ただし、デッサンはフリーハンドで行うこととし、定規などは用いてはいけない。

【評価項目： AP-①②⑤、デザインの思考能力-A B D E】

- ・ 静物を正確にデッサンできるかどうか
- ・ 静物の成り立ちに関する一般的知識・教養があり、表現する力があるかどうか
- ・ 事物の見え方(光と影)を把握しているかどうか

【持ち物】

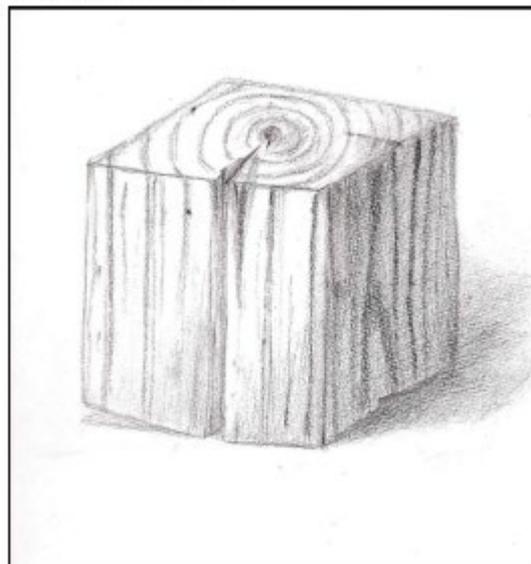
- ・ 鉛筆 (H, HB, B, 2Bなど)、練り消しゴム

###### ■ 例題と解答例

例題1 配布された木片ピースをデッサンしなさい。

解答例

木片ピースのデッサン例



## 課題2 「観察力デッサン」

### ■ 試験内容と評価項目

与えられた課題から事象を想像し、A3画用紙に鉛筆を用いたデッサンを行う。  
ただし、デッサンはフリーハンドで行うこととし、定規などは用いてはいけない。

【評価項目： AP-①③④、デザインの思考能力-ABCDE】

次の4項目の内いずれかの観察力に関する出題を行い、評価する

- ・ア「構造的観察力」 与えられた条件で、材料特性と力の関係を表記する
- ・イ「環境的観察力」 光の方向、風の流れなど環境に関連した特質を表記する
- ・ウ「材料的観察力」 材料の特質を表記する
- ・エ「計画的観察力」 空間把握力を表記する

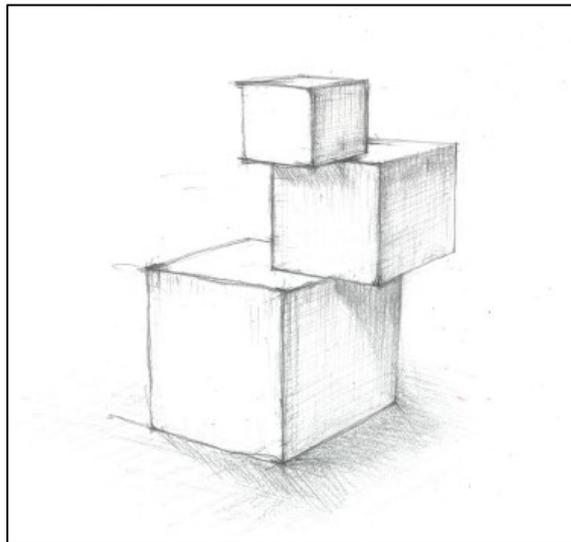
【持ち物】

- ・鉛筆（H, HB, B, 2Bなど）、練り消しゴム

### ■ 例題と解答例

例題2 大きさの違う大中小の3つのプラスチック製の白い立方体があり、  
これらが不安定に積み上がっている。  
一番下には大きい立方体、2番目に中くらいの立方体、一番上が小さい立方体である。  
そして、積み上がった立方体の斜め左上から光が差し込んで影ができています。  
この様子を想像しデッサンしなさい。

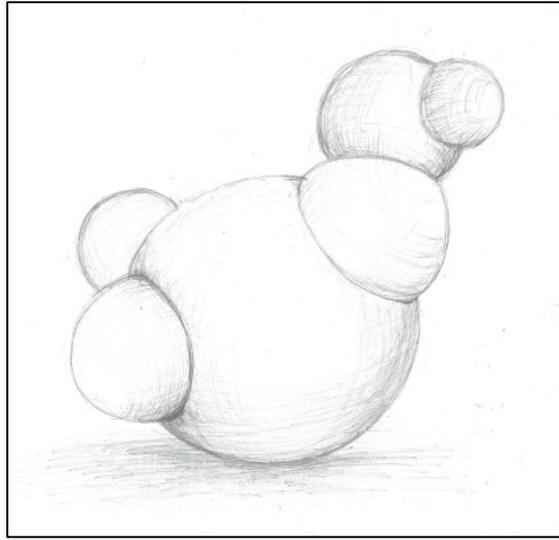
解答例



評価ポイント：意匠計画的及び環境的視点、材料的視点、構造的視点でものを見ているかどうか。

例題3 大きさの違う6つの球がある。それらが、泡のように合体している。  
この様子を想像しデッサンしなさい。

解答例



評価ポイント：意匠計画的にもものを見ているか

以上